



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月6日

上場会社名 朝日工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5456 URL <http://www.asahi-kg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 政徳
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 稲場 進 (TEL) 03-3987-2161
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,592	13.2	△103	—	△17	—	△261	—
29年3月期第2四半期	14,655	△17.7	415	△28.2	410	△36.8	219	△61.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △112百万円(—%) 29年3月期第2四半期 242百万円(△60.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△37.38	—
29年3月期第2四半期	31.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	29,828	8,152	27.3
29年3月期	27,507	8,404	30.6

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,152百万円 29年3月期 8,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	14.4	650	△45.9	700	△37.2	550	△32.9	78.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	7,200,000株	29年3月期	7,200,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	200,000株	29年3月期	200,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	7,000,000株	29年3月期2Q	7,000,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の不確実性や、金融資本市場の変動の影響に注視する必要があるものの、雇用・所得環境の改善を背景に回復基調が続いています。

このような状況の中、当社グループは、2016年5月に公表した2018年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「ASAHI2018プロジェクト」に基づき、諸施策を着実に推進しております。

しかし、建設需要が緩やかに増加しているにもかかわらず、当グループ主要事業に大きく影響を与える鉄筋需要の低迷から低調な展開となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は16,592百万円（前年同期比13.2%増）、営業損失は103百万円（前年同期は営業利益415百万円）、経常損失は17百万円（前年同期は経常利益410百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は261百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益219百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①鉄鋼建設資材事業

中期経営計画の主要施策である高強度鉄筋、ねじ節鉄筋の販売拡大に努めたものの、鉄筋の需要は工事進捗の遅れ等により盛り上がりには欠け、出荷は前年度並みとなりました。一方、鉄スクラップ価格はアジア地区の需要動向に大きく影響を受け、上昇基調が継続したことに加え、エネルギーや副原料等の価格も上昇し、大幅なコストアップを余儀なくされました。

このような中、販売価格の改善や原単位低減等のコストダウンを推進しましたが、スクラップ価格の上昇スピードに販売価格の改善が追いつかず、前年同期と比べ減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は9,985百万円（前年同期比23.1%増）、セグメント利益は114百万円（前年同期比85.4%減）となりました。

②砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業

砕石砕砂事業では、販売エリアにおける生コンクリート向け、アスファルト合材向けともに需要が好調に推移したことに加え、新砒区を取得したことや販売先開拓の進展により販売数量が増加し、前年同期と比べ増収増益となりました。マテリアルリサイクル事業では、がれき類の集荷量が前年を上回り、販売数量が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,102百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は60百万円（前年同期比73.8%増）となりました。

③農業資材事業

農業資材事業の業績に影響を与える肥料需要は、作付面積の減少、施肥の省力化等により減少傾向となっております。

このような状況の中、主力事業である肥料事業では、家畜糞等の堆肥を原料とした「エコレット」を中心に高付加価値商品である有機質肥料の農家向け販売拡大に努めたことで、増益となりました。

種苗事業では、新品種の大玉トマト「有彩（ありさ）」やカボチャ「プリメラ」、メロン台木等の販売拡大を行い、前年同期と比べ増収となりました。

乾牧草事業では、国内における需要が底堅く、更に新規受注を獲得したことにより販売数量が増加し、増益となりました。特に豪州合弁会社の業績は、中国の需要が堅調に推移したことから販売数量が増加し、大幅な増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は5,474百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益は374百万円（前年同期比129.1%増）となりました。

④その他

報告セグメント以外の事業業績は、売上高は235百万円（前年同期比99.0%増）、セグメント利益は14百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、上記各セグメント別売上高の合計からセグメント間の内部売上高205百万円を差引き、16,592百万円となり、営業利益は、上記各セグメント別利益の合計からセグメント間の取引消去額、持分法による投資利益および管理部門経費など各事業に帰属しない全社費用の合計667百万円を差引き、103百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,844百万円増加し、16,701百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,782百万円、原材料及び貯蔵品が204百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ476百万円増加し、13,127百万円となりました。主な要因は、機械装置及び運搬具が309百万円、投資有価証券（投資その他の資産）が109百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,321百万円増加し、29,828百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,110百万円増加し、14,702百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1,583百万円、一年内返済予定の長期借入金が427百万円、設備支払手形（その他）が359百万円増加し、短期借入金が800百万円、未払金（その他）が615百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,463百万円増加し、6,973百万円となりました。主な要因は、長期借入金が1,240百万円、社債が270百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,573百万円増加し、21,676百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ252百万円減少し、8,152百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末30.6%から27.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,782百万円増加の5,118百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,205百万円（前年同期比41.3%増）となりました。これは主として、仕入債務の増加額が1,583百万円、減価償却費が544百万円となったことと、未払金（その他）の減少額が615百万円、たな卸資産の増加額が253百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、397百万円の資金支出（前年同期比552.7%増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が385百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、972百万円の資金増加（前年同期比89.3%増）となりました。これは主として、長期借入れによる収入が2,696百万円、社債の発行による収入が300百万円となったことと、長期借入金の返済による支出が1,027百万円、短期借入金の純減少額が800百万円、配当金の支払額が139百万円となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の業績予想につきましては、2017年5月10日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、2017年11月6日公表の「通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,336	5,118
受取手形及び売掛金	4,734	4,695
商品及び製品	4,762	4,811
原材料及び貯蔵品	1,510	1,714
その他	514	362
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	14,856	16,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,046	2,952
機械装置及び運搬具（純額）	3,745	4,054
土地	2,721	2,721
その他（純額）	1,098	1,200
有形固定資産合計	10,611	10,928
無形固定資産	234	221
投資その他の資産	1,804	1,977
固定資産合計	12,650	13,127
資産合計	27,507	29,828
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,268	5,852
短期借入金	4,700	3,900
1年内償還予定の社債	60	60
1年内返済予定の長期借入金	1,947	2,375
未払法人税等	34	53
賞与引当金	262	257
その他	2,318	2,204
流動負債合計	13,592	14,702
固定負債		
社債	120	390
長期借入金	3,870	5,111
退職給付に係る負債	964	928
環境対策引当金	111	47
その他	443	494
固定負債合計	5,510	6,973
負債合計	19,102	21,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,190	2,190
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	4,636	4,234
自己株式	△293	△293
株主資本合計	8,334	7,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	271
為替換算調整勘定	35	47
退職給付に係る調整累計額	△125	△99
その他の包括利益累計額合計	69	219
純資産合計	8,404	8,152
負債純資産合計	27,507	29,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	14,655	16,592
売上原価	11,163	13,516
売上総利益	3,491	3,075
販売費及び一般管理費	3,075	3,178
営業利益又は営業損失(△)	415	△103
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	17	15
持分法による投資利益	61	161
その他	25	27
営業外収益合計	105	204
営業外費用		
支払利息	63	64
売上割引	36	34
その他	11	20
営業外費用合計	111	119
経常利益又は経常損失(△)	410	△17
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	25	-
特別利益合計	25	0
特別損失		
固定資産処分損	62	47
投資有価証券評価損	66	49
関係会社株式売却損	64	-
特別損失合計	193	97
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	241	△114
法人税、住民税及び事業税	32	76
法人税等調整額	△10	70
法人税等合計	22	146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219	△261
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	219	△261

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219	△261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	111
為替換算調整勘定	△77	12
退職給付に係る調整額	32	25
その他の包括利益合計	23	149
四半期包括利益	242	△112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	△112
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	241	△114
減価償却費	491	544
売上債権の増減額(△は増加)	1,607	39
たな卸資産の増減額(△は増加)	△171	△253
仕入債務の増減額(△は減少)	△722	1,583
その他	△476	△560
小計	971	1,238
利息及び配当金の受取額	119	99
利息の支払額	△63	△63
法人税等の支払額	△174	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	853	1,205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△295	△385
無形固定資産の取得による支出	△13	△10
投資有価証券の売却による収入	29	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	11	-
貸付金の回収による収入	210	-
その他	△2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60	△397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△800
長期借入れによる収入	1,700	2,696
長期借入金の返済による支出	△857	△1,027
社債の発行による収入	-	300
社債の償還による支出	△30	△30
配当金の支払額	△279	△139
その他	△19	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	513	972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,297	1,782
現金及び現金同等物の期首残高	2,640	3,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,937	5,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	鉄鋼建設資材 事業	碎石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	農業資材事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	8,111	979	5,519	14,610	44	—	14,655
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	0	1	73	△75	—
計	8,111	980	5,519	14,611	118	△75	14,655
セグメント利益 又は損失(△)	785	34	163	983	△6	△560	415

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△560百万円には、セグメント間取引消去0百万円、持分法による投資利益△61百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△499百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	鉄鋼建設資材 事業	碎石砕砂・ マテリアルリ サイクル事業	農業資材事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,985	1,099	5,474	16,559	32	—	16,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	0	2	202	△205	—
計	9,985	1,102	5,474	16,561	235	△205	16,592
セグメント利益 又は損失(△)	114	60	374	549	14	△667	△103

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントの業務請負事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△667百万円には、セグメント間取引消去0百万円、持分法による投資利益△161百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△506百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントなどに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。